

スポーツコース通信 第 9 号

親元から離れ頑張っている生徒たち



今週は親元を離れ、学校の寮や部活の寮で生活をし部活を頑張っている生徒をご紹介します。1・2組合わせて13名が下宿をしています。県外からは5人います。親元を離れたことで、すでに色々なことを経験し成長しているようです。保護者の方々への感謝の気持ちも多く書かれています。是非お読みいただきたいと思います。他の生徒も、ここに紹介した生徒たちに刺激を受け共に成長してほしいです。

氏名	部活 (出身地)	一言
1組 石川薫子	女子バスケット (佐渡市)	「北越でバスケがしたい。」「北越の仲間と全国に行きたい。」そんな思いを快く受け入れてくれた両親がいます。地元を離れるということできっと不安でいっぱいだったと思います。私は佐渡を離れて後悔はしていません。今のチームの仲間と全国に行っている結果を残すことが両親や支えてくれている人たちへの恩返しだと思っているので絶対に全国へ行きます。
1組 石附夕芽	新体操 (東京都)	私は親元を離れて寮で生活をするということに不安を感じず反対に楽しみでした。地元にいるときは何でも親にして貰っていたことが今は洗濯や掃除などすべてのことを自分でこなすのがこんなに大変だとわかりました。私が北越に入り部活をしようと思ったのは将来自分が大人になったときに必ず必要になってくる精神面や生活面、そして部活での技術面を今までダメだった自分に厳しく鍛え直そうと思ったからです。なので、私は自分のためにも北越高校に入学して良かったと思っています。そして私にこの学校を紹介してくださったクラブの先生や多くの応援をしてくれた友人たちにとっても感謝しています。みんなの為にも必ず3年間で強くなり成長して東京に帰ります。
1組 高橋大地	男子バドミントン (長野県)	小中学校で続けてきた部活なので地元を出て強い学校で部活をしたいと思い北越高校に来ました。時々、「部活のために来た」と割り切って生活していると新潟に来た時の初心に戻れるのでまた「頑張ろう」とか思います。自分のわがままを言って親、地元の先生、コーチに頼んで、その他にもいろいろな人に迷惑をかけてきましたが、結果を出して恩返しができるようにしたいです。
1組 高橋 蓮	サッカー (上越市)	やっと寮生活に慣れた。1日の生活の中で親の大変さや有り難みが分かるから部活を頑張って恩返ししたい。
1組 長谷川 輝	野球 (柏崎市)	寮に入ってから2ヶ月が経って寮生活になれることができた。自分が寮で生活できるのも親のおかげなので、感謝の気持ちを忘れずにプレーして甲子園優勝目指して頑張りたい。
1組 林 湧祐	サッカー (長野県)	寮だとサッカーだけに集中できるし、自主トレも遅くまでできるからいいと思う。部活は3年生や監督・コーチの迷惑にならないようにして、試合に出られるように努力する。

1組 水澤 由	女子ソフトテニス (上越市)	寮生活をして感じることは洗濯や掃除など身の回りのことをすべて自分でやらなくてはいけないのでそこが大切。だから普段当たり前に自分のことをやってくれていた親にとっても感謝しています。
1組 柳澤 守	男子バドミントン (長野県)	僕は親に反対されていたところから何とかして北越高校に入学しました。そして長野から来ているのでなかなか親と会えません。なので、親孝行できません。部活や勉強でいい記録を残しそれを親孝行にしようと思います。親への感謝の気持ちを忘れず一生懸命頑張りたいです。
2組 池田拓馬	男子バドミントン (上越市)	ここまで下宿生活をして、親のありがたみが改めてよくわかりました。今まで任せていた洗濯なども全部自分でやらなくてはいけないので、親がどれだけ大変だったかわかります。わざわざこんなに遠いところまで連れてきてくれた親に感謝しながら、ちゃんと結果を出し親への感謝を忘れずに生活をしていきたいです。
2組 大野真一郎	卓球 (長岡市)	寮生活をしていて感じることは洗濯や掃除などの家事をすべて自分自身でやらなければならないのでとても大変だなあということです。でもそれを承知で寮に入って親にも沢山お金を出してもらっているのだからそれに応じられるように必死に部活を頑張りたいです。
2組 小林愛華	卓球 (新潟市)	寮生活は全部自分でするのが当たり前で大変なこともあるけど高校からこういった経験を積めてよかったです。この3年間で人として成長できるように頑張っていきたいです。親元を離れたことに後悔はないし、むしろ自分のためになると思えました。試合のときとかに弁当を持ってきてくれたり応援してくれたりすると今はすごく嬉しいです。これからも感謝の心を忘れずに充実した寮生活を送っていきたいです。
2組 佐澤竜鳳	卓球 (愛知県)	寮生活では今までやらなかった洗濯や掃除などするようになって最初は大変だったけど今ではちゃんとやれるようになりました。親には仕送りをして貰っているのでもって感謝しています。
2組 高田桃華	女子バスケット (長岡市)	自分がここでバスケがしたいと思い、北越高校に決めました。親元を離れて親がいるありがたさと、親の大変さがよくわかりました。おやがいなくても、厳しいけど今ここで大好きなバスケができていますので頑張れます。必ずこの仲間とインターハイに行きます。

親御さんから下宿する御子さんへのメッセージを紹介させていただきます。

- 部活と勉強の両立ができると思う。表情や言葉から高校生活が充実していると感じられる。更に上の目標を目指して頑張ってもらいたい。
- 元気にしてますか？毎日遅くまで部活をしていて大変だろうけど体に気を付けて頑張ってください。試合がある時は都合がつけば応援に行きたいと思えます。勉強は、新しい科目も増え覚えることが沢山あると思うけど分からない事はそのままにしないでしっかりと復習して身につけるようにしてください。部活に勉強に忙しいでしょうが頑張ってください。
- 学業、部活、今しかできないことを楽しみながらやり切る。将来の自分をイメージして、今やらなければならないことをしっかり！離れていても「〇〇ファミリー」みんな応援しています。

